

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科(昼夜間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	補聴器・人工内耳II		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期	教室名	402
担 当 教 員	辻 一功	実務経験とその関連資格	言語聴覚士、認定補聴器技能者として補聴器外来や聴覚リハビリテーションに携わる			
《授業科目における学習内容》						
年々進化する補聴器・人工内耳に必要な知識を深め、症状や病態や生活環境など、状況に合わせた聴覚リハビリテーション及び聴覚ケアを適切に提供できるようにする。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト・中間試験、学期末試験 学期末試験で100%評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
言語聴覚士テキスト 第4版 医歯薬出版、聴覚障害学3版 医学書院 参考図書: Hearing Aids Thieme						
《授業外における学習方法》						
予習及び復習を行うことが望ましい。						
《履修に当たっての留意点》						
補聴器・人工内耳は個々の状況に応じた調整およびリハビリテーションが必要であり、同じ機器を用いても機器を提供する側の対応によって生活の質の改善に差がでるため、知識や技術をしっかりと身に付けることが重要である。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器の種類と構造を理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	補聴器の種類、構成要素などについて学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器の加工・機能について理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	イヤモールド、増幅、帯域分割、雑音抑制、その他機能について学ぶ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器の音響特性と測定について理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	周波数レスポンス曲線、音響利得、出力、特性測定、JISなどについて学ぶ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器のフィッティングの流れを理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	器種・計算式の選択、耳型採取、フィッティングなどについて学ぶ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器適合について理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	補聴器適合検査の指針(2010)などについて学ぶ			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 乳幼児の補聴器選択・調整について理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定 装用耳・器種・計算式の選択、装用状態、聴力・ことばの聴取能などについて学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 補聴器の装用指導について理解し、説明できる。中間試験	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定 装用指導について学ぶ、中間試験の実施		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 人工内耳の基礎知識を理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定 人工内耳の基本構造、成人と小児の適応基準などについて学ぶ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 人工内耳を用いたリハビリテーションの基礎について理解する	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定 人工内耳のマッピング・評価・訓練の基礎などについて学ぶ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 人工内耳を用いたリハビリテーションの発展について理解する	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定 人工内耳のマッピング・評価・訓練の発展などについて学ぶ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 その他の人工聴覚器や周辺機器を理解する	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定 人工中耳、埋込型骨導補聴器、補聴器・人工内耳の周辺機器などについて学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 聴覚障害を取り巻く環境を理解する	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定 聴覚障害の等級、情報保障・支援システムなどについて学ぶ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 個々に応じた補聴器・人工内耳の対応を理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定 症例検討1		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 個々に応じた補聴器・人工内耳の対応を理解し、説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定 症例検討2		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 補聴器・人工内耳についての知識を整理、理解する	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定 聴覚リハビリテーション、聴覚ケアなどについて学ぶ		